

## 令和5年度学校評価報告書

## 1 本年度の重点目標

- (1) 授業改善や探究活動等の充実を図ると共に、組織的な指導によって学力を高める。  
 (2) 自らの生き方を考え、進路を選択できる力や態度を育む。  
 (3) 生徒の主体的な活動の充実を図り、望ましい人間関係を形成できる生徒を育てる。  
 (4) 安全で安心できる活動を通して、体力の向上を図る。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育目標 経営方針	教育目標、重点目標について、教職員アンケートでは全ての教員が、概ね十分以上としており、保護者アンケートにおいても90%以上の高い評価を得た。業務精選と効率化による教員の負担軽減と教員の指導力向上を図ることにより、学校の教育活動を一層推進していく必要がある。	教育目標・経営方針の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ妥当である。
改善方策	(1) 分掌・学年での更なる業務の精選と業務の平準化を図る校内体制を構築する。 (2) 計画的かつ効率的な会議等を通して、情報の共有と協働的な取組を推進する。 (3) 週休日の振替や変形労働時間制等を活用し、時間外在校等時間の縮減を図る。	
学習指導	教職員アンケートでは、授業の指導方法の工夫改善や観点別評価の実践について、高い概ね取り組んでいるとの結果となった。保護者アンケートでは、昨年度よりも高い評価をいただいている。ICTを活用した授業実践が教職員アンケートおよび生徒アンケートから課題と上げられているため、BYODを活用した授業改善を図り、基礎学力の向上と主体的で対話的な深い学びをさらに推進していく必要がある。	学習指導の「自己評価と取組」は、ほぼ妥当であり、「改善方策」は、ほぼ適切である。
改善方策	(1) 職員会議の効率化等により、BYOD活用に係わる校内研修やロイロノートを活用した授業研究の時間を確保し、教員の指導力向上と授業改善を推進する。 (2) 観点別評価の在り方について、教員から情報収集を行い、校内の共通理解を進めながら改善を行い、生徒の学習意欲の向上を図る。 (3) 生徒の学習習慣を定着させるためにGoogle Classroom等の工夫改善を図る。	
進路指導	教職員アンケートでは系統立てた進路シラバスの活用、学習状況や模試の分析について高い評価となっている。保護者アンケート及び生徒アンケートにおいて、生徒が主体的に考え取り組む資質が伸びていることが窺える。より充実させるため、年次・分掌との連携や進路講演などへの外部人材の活用が課題となっているため、組織的な進路指導を強めていく必要がある。	進路指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ともに適切である。
改善方策	(1) 卒業生が現役生徒へ助言する卒業生サポーター制度を活用し、キャリア教育の充実を図る。 (2) 道内大学訪問の実施、教職員のWEB研究会一斉参加の機会設定し、進路に係わる指導力の向上を図る。また、適所に外部人材を活用し、効果的な進路指導を推進する。 (3) 保護者への情報提供を充実させ、家庭と連携した進路指導を継続していく。	

生徒指導	<p>教職員アンケートでは、すべての教職員が概ね十分であると回答している。ただ、生徒アンケートから、生徒アンケートにおいて、「悩みや困ったことがあったとき、いつでも先生に相談することができる」について、不十分であると感じている生徒があることが窺える。より教育相談体制の改善を図り、支援委員会を中心とした組織的な取組みを継続していく。いじめの未然防止やいじめの事故に対する組織的な対応についても、ライフサポートグループと年次の連携を密にした組織的な取組みを継続していく必要がある。</p>	<p>生徒指導の「自己評価と取組」は、妥当であり、「改善方策」は、ほぼ適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい人間関係の構築に向けて、何かお手伝いすることができないかを考えている。</li> </ul>
改善方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) いじめの未然防止に向けた情報共有の継続とSNSに係わる指導の強化を図る。</li> <li>(2) 支援委員会を中心に特別な配慮を要する生徒についてSC及びSSWなどの外部専門機関、スタディサポートグループと連携し支援を継続していく。</li> <li>(3) 本校の「元気チェック」の他、新たな生徒理解調査を実施し生徒理解を深めていく。</li> </ol>	
健康安全指導	<p>健康安全および生命を尊重する指導について、すべての教職員が概ね十分であると回答している。より充実した指導になるよう、外部機関と連携し指導の質を高めていきたい。</p>	<p>健康安全指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ともにほぼ妥当である。</p>
改善方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実効性のある避難訓練や防犯訓練を実施し、安全行動に対する生徒の意識と教員の指導力向上を図る。</li> <li>(2) 公共交通機関の利用や自転車の乗り方についての指導を強化し、交通事故等の未然防止に努める。</li> <li>(3) スマホの利用や制服など校則に関するアンケートを実施し、生徒会と連携しながら生徒が主体的に規範意識を高める態度を向上させる。</li> </ol>	
理数教育	<p>SSHの特色を発揮した教育活動について、教職員アンケートでは概ね十分以上が96%であった。保護者アンケートでも高い評価を得ている。また、生徒アンケートの「SSH校としての探究的な学びは楽しく、自分の思考力や表現力、コミュニケーション能力が向上したと思う」について、87%が概ね十分以上であったが、一部の生徒では不十分という結果が得られた。全ての生徒が思考力、表現力、コミュニケーション能力の向上を実感できるよう、探究的な学習についてさらに課題改善を図る必要がある。</p>	<p>理数教育の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ともに適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの工夫やアプリを活用した発信等を行うことにより、取組をわかりやすくPRしたらよい。</li> </ul>
改善方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校HP、SNS等での積極的な情報発信を継続し、地域・保護者への周知と理解を図る。</li> <li>(2) 探究活動支援TA、3年生メンターの他に「社会人アドバイザー」として地元企業などの地域人材によるサポート体制をより推進する。</li> <li>(3) 市のイベント参加や発表会参観の促進により、旭川市や地元企業との連携が大きく進捗できたため、次年度も継続していく。</li> <li>(4) テーマ決定段階からの市や外部機関による指導・助言、「課題探究中間発表会」（7月実施）「研究発表会」（12月実施）までの研究支援を通して探究的な学習の発展を図る。</li> <li>(5) ポートフォリオや課題解決・解決能力テストの活用を通して生徒の資質能力の向上を図る。</li> </ol>	

開かれた学校づくり	<p>広報活動について、教職員アンケートでは昨年度に比べ、大きく改善しているとの結果であった。保護者アンケートにおいても、同様であった。PTA活動については、コロナ禍における行動制限が緩和されたことにより、保護者アンケートから高い評価を得た。今後も、保護者・地域と連携を深めた教育活動のより一層の推進のため、マネジメントグループを中心に、地域・保護者への情報発信について改善を図る必要がある。</p>	<p>開かれた学校づくりの「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ妥当である。</p>
改善方策	<p>(1) 学校HPの改善や学校配信メール、SNSを活用し、学校生活の様子やや行事のトピックを画像で掲載するなど本校の活動内容を積極的にアップロードしていく。</p> <p>(2) PTAとの連携を密にし、PTA活動に関して早期の連絡に努めていく。</p> <p>(3) オープンスクールや学校説明会での運営や内容について見直しを図り、中学生にとって魅力ある取組みにしていく。保護者の参加も促進し、本校の教育活動の周知と理解に努めていく。</p>	